

甲状腺の病気について！！

そよかぜ通信 No.90

甲状腺はどこにあるの？

甲状腺は首の前側、のどぼとけのすぐ下にあります。

蝶が羽を広げたような形で気管を包み込むようにあります。

正常な甲状腺はやわらかいので、外から手で触っても分かりませんが、

腫れてくると、手で触ることができ、首を見ただけで腫れているのが分かります。

甲状腺はどんな働きをしているの？

甲状腺は食べ物に含まれるヨウ素を材料にして甲状腺ホルモンを作り、血液中に分泌するところです。

甲状腺ホルモンは、体の発育を促進し、新陳代謝を盛んにする働きがあります。

つまり、活動するために必要なエネルギーを作り、快適な生活を送るためになくってはならないホルモンです。

甲状腺に異常があるとどうなるの？

- ①甲状腺ホルモンが多い状態(バセドウ病)
- ②甲状腺ホルモンが少ない状態(橋本病)
- ③甲状腺ホルモンにおできができた状態(良性・悪性)

このように甲状腺の異常は主に3つに分けられます。

甲状腺ホルモンのバランスが崩れると、全身にさまざまな辛い症状が現れ、原因が分からない体調不良や疲れが溜まった状態などが続きます。

甲状腺ホルモンに異常があるとこんな症状が現れます

4つ以上当てはまれば、一度血液検査を受けましょう。

(甲状腺ホルモンが多い時)

- 疲れやすさ・だるさがある
- 汗が異常に多い
- 暑がりである
- 脈拍数が多く・動悸がする
- 手足が震える
- 甲状腺が腫れる
- 食欲が旺盛である
- イライラする
- 痒みがある
- 口が渇く
- 微熱が続く
- 息切れがする
- 髪の毛が抜ける
- 排便の回数が増える
- 眼球が出てくる

(甲状腺ホルモンが少ない時)

- 疲れやすさ・だるさがある
- 汗が少ない
- 寒がりである
- 脈拍数が少ない
- むくむ(顔・全身)
- 甲状腺が腫れる
- 体重が増える
- 気力がない
- 皮膚が乾燥する
- 声がかれる
- 眠たい
- 物忘れし易い
- 動作が鈍い
- 髪の毛が抜ける
- 便秘
- 筋力が低下する



しっかり寝ているのに、疲れがとれない時などホルモンの値を調べてみましょう！！